

大宮通信

大宮中学校 学校だより
第106号 2026.2.9

いよいよスタートラインに



先週は3年生で体調不良の人が多いため、学年休業としました。登校して学習することができず、また友だちとも話をすることができず、不安な気持ちになった人もいるかもしれません。

そして明日10日（火）には、いよいよ私立高校の入学試験が行われます。きっと今、初めて味わう緊張を感じている人も、多いのではないかでしょうか。

いよいよ、進路決定に向けた本番が始まります。3年生の皆さんには、ここまでよく頑張ってきました。自分の力を信じて、堂々と試験に臨んでください。

さて先週6日（金）に、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックが開幕しました。22日（日）までの17日間、熱戦が繰り広げられます。日本からも120人の選手が出場します。

ミラノはイタリアではローマに次いで2番目に大きな都市です。大阪市とも1981年から姉妹都市として、文化や芸術の交流を続けており、今年で45周年になります。

一方、コルティナは、アルプス山脈に囲まれた山岳リゾートで、雪と自然に恵まれた場所です。都市と自然、2つの特色ある地域で行われるのが、今回の冬季オリンピックです。

オリンピックのニュースなどを見ていると、どうしてもメダルや記録に目が向きがちです。そのような栄冠に向けて努力を重ねる中で、選手たちはけがや病気を乗り越えたり、思うように練習ができない時期を経験したりしてきています。

中には、本番直前まで調子が上がらず、不安を抱えたままスタートラインに立つ選手もいるでしょう。それでも選手たちは、「できなかったこと」よりも、「これまで積み重ねてきたこと」を信じて、競技に臨むのだと思います。

そのような選手たちの活躍を、たくさん見られることが楽しみです。

ところで、冬季オリンピックの開催について、大きな問題になっていることがあります。地球温暖化の影響で降雪量が減り、競技環境を整えることが難しいので、大会を開催することができない地域が増えると予測されています。今回の大会でも、大量の人工雪が使われます。2050年までには、これまでに開催した都市では冬季オリンピックが開催できなくなるという研究結果もあります。

オリンピックを通じて、平和の貴さや、自然環境を守ることの大切さなど、世界が抱える様々な課題が浮かびあがってきます。そして実は、それは私たちの日常生活とも、とてもつながりがあるのです。